

大阪ガスグループの沿革

明治	
30(1897)年	資本金35万円をもって設立
38(1905)年	岩崎工場を設立し、ガスの供給開始 (顧客数3,351戸)
昭和	
8(1933)年	本社ビル竣工
15(1940)年	西島工場完成
25(1950)年	京阪連絡管完成(現第1京阪線)
27(1952)年	阪神連絡管完成(現第1阪神線)
30(1955)年	第1回「ガス展」を開催
33(1958)年	ガス自動炊飯器発売 お客さま数100万戸突破
39(1964)年	京阪神地区のカロリーアップ実施 (3,600kcal/m ³ から4,500kcal/m ³)
41(1966)年	お客さま数200万戸突破
42(1967)年	神戸市立中央体育館のガスエンジン式冷房 第1号機運転開始
44(1969)年	ガス吸収冷温水機第1号機を大阪塗料会館に納入
45(1970)年	千里中央地区で日本初の地域冷暖房事業開始 近畿幹線第1西部ライン完成
46(1971)年	泉北工場操業開始 お客さま数300万戸突破
47(1972)年	ブルネイLNG導入開始 近畿幹線第1東部ライン完成
50(1975)年	天然ガス転換開始 (4,500kcal/m ³ から11,000kcal/m ³)
52(1977)年	泉北製造所第二工場操業開始 インドネシアLNG導入開始
53(1978)年	近畿幹線第2東部ライン完成 お客さま数400万戸突破
54(1979)年	世界初の冷熱発電用プラント操業
56(1981)年	米国のブルックリン・ユニオン・ガス社と技術交流契約を結ぶ
57(1982)年	「ガス科学館」開館 コージェネレーションシステム第1号機を ニチイ加古川店に納入
59(1984)年	ロンドン事務所開設 姫路製造所操業開始
62(1987)年	マイコンメーター導入開始
63(1988)年	お客さま数500万戸突破

平成	
元(1989)年	近畿幹線第2西部ライン全線開通 オーストラリアLNG導入開始 「㈱アーバネックス」設立
2(1990)年	天然ガス転換完了
3(1991)年	「㈱リキッドガス」と「大阪ガスケミカル㈱」を設立 生活誕生館「DILIPA」開館
4(1992)年	「㈱オージス総研」設立
6(1994)年	近畿幹線第3西部ライン完成 西島製造所コークス炉停止
7(1995)年	阪神・淡路大震災発生(約86万戸の都市ガス供給を停止) マレーシアLNG導入開始
8(1996)年	原料費調整(スライド)料金制度スタート
9(1997)年	一般家庭にマイコンメーター取り付け完了 お客さま数600万戸突破
10(1998)年	カタールLNG導入開始
11(1999)年	初の自己株式消却を実施
12(2000)年	大口ガス事業向け「接続供給約款」の届け出 「日商岩井石油ガス㈱(現:日商LPガス㈱)」編入 オマーンLNG導入開始
15(2003)年	供給ガスの熱量変更(11,000kcal/m ³ から 10,750kcal/m ³ (45MJ/m ³)) 家庭用コージェネレーションシステム 「エコウィル」の発売 近畿幹線京滋ライン・姫路ライン完成
16(2004)年	米国IPP事業及びスペインIPP事業に参画 姫路製造所の発電設備が営業運転開始
17(2005)年	創業100周年 新ブランドスローガン 「Design Your Energy 夢ある明日を」を発表 エコウィル販売台数が1万台突破
18(2006)年	近畿幹線滋賀ライン完成
21(2009)年	泉北天然ガス発電所運転開始